

今から5年ほど前、熊本県八代市の蘭草生産農家の方々が、熊本県産畳表のPRのために岐阜に來られ、当店にも立ち寄られました。八代市は国産畳表の90%以上を産出する、国内最大の畳表生産地です。

その時、私は橋口英明という人物と出会います。彼が素晴らしい畳表を織る生産者であることは以前から聞いていました。総理官邸、永平寺、熊本城など日本各地の由緒ある建物の畳に、彼の畳表が使われています。平成18年に品評会で農林水産大臣賞も受賞され、

素描

蘭草生産農家との出会い

岐阜県畳組合理事長 石河恒夫

約600軒ある熊本畳表生産者の中でも間違いなく頂点を極める方です。ほど過酷な作業でした。頂きました。どちらも二

私は橋口さんに伝えました。「蘭草栽培から畳表ができるまでを是非見たい」。橋口さんは「いづでん熊本に來なっせ」と難解な熊本弁でそう言ってくれたのです。終過程である、畳床に縫

蘭草生産農家は畳表を織るだけではありません。先月6日、橋口さんが

て夏の刈り取りという大変な外仕事があります。その翌々年の7月に刈り取り作業、そして12月に植え付け作業を、それぞれ3日間いくつかの農家に寝泊りして体験させて

再び15人の蘭草生産農家の方々と來岐され、18楼で何年かぶりに会うことができました。奇しくも同い年、これからも熊本産地のために頑張ってくださいと思います。